平成 24 年６月 26 日

各　　位

会 社 名　株式会社モブキャスト
代表者名　代表取締役社長　　藪　　考樹
（コード番号：3664）
問合せ先　取締役管理部長　　清田　卓生
（TEL. 03-5715-1521）

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年６月 26 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の平成 24 年 12 月期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別紙のとおりであります。

【単　体】　　（単位：百万円、％）

決算期 / 項目	平成 24 年 12 月期（予想）			平成 23 年 12 月期（実績）		平成 24 年 12 月期 第１四半期累計期間（実績）	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売　上　高	3,814	100.0	88.6	2,022	100.0	1,081	100.0
営 業 利 益	1,000	26.2	92.0	521	25.8	248	23.0
経 常 利 益	997	26.1	95.5	510	25.2	248	22.9
当 期 純 利 益	591	15.5	22.2	484	23.9	143	13.2
１株当たり当期純利益	97 円 63 銭			45,116 円 55 銭 (90 円 23 銭)		25 円 64 銭	
１株当たり配当金	－			－		－	

（注）１．当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。

２．平成 23 年 12 月期（実績）、平成 24 年 12 月期第１四半期累計期間（実績）及び平成 24 年 12 月期（予想）の１株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均株式数により算出しております。

３．平成 24 年 12 月期（予想）の１株当たり当期純利益は、公募予定株式数（350,000 株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大 80,000 株）は考慮しておりません。

４．当社は平成 24 年３月８日付で株式１株につき 500 株の株式分割を行っております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の１株当たり指標の推移は（　）内に記載しております。

平成24年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年６月26日

上場会社名	株式会社モブキャスト		上場取引所　東京証券取引所マザーズ
コード番号	3664		ＵＲＬ　http://mobcast.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）藪　考樹	
問合せ先責任者	（役職名）取締役管理部長	（氏名）清田　卓生	ＴＥＬ　03（5715）1521
四半期報告書提出予定日	―		配当支払開始予定日　―

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年12月期第１四半期の業績（平成24年１月１日～平成24年３月31日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第１四半期	1,081	―	248	―	248	―	143	―
23年12月期第１四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第１四半期	25.64	―
23年12月期第１四半期	―	―

（注）１．当社は、平成23年12月期第１四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第１四半期及び平成24年12月期第１四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
２．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成24年12月期第１四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第１四半期	1,655	918	55.5
23年12月期	1,329	716	53.9

（参考）自己資本　24年12月期第１四半期　918百万円　　23年12月期　716百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―				
24年12月期（予想）		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成24年12月期の業績予想（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,814	88.6	1,000	92.0	997	95.5	591	22.2	97.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

４．その他

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期第１四半期	5,972,500株	23年12月期	10,882株
②	期末自己株式数	24年12月期第１四半期	―株	23年12月期	―株
③	期中平均株式数（四半期累計期間）	24年12月期第１四半期	5,587,016株	23年12月期第１四半期	―株

（注）当社は、平成24年３月８日付で、株式１株につき500株の株式分割を行っております。期中平均株式数は、当事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・　平成24年３月８日付で、株式１株につき500株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
第１四半期累計期間 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）セグメント情報等 …… 6
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6
（６）重要な後発事象 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の深刻な打撃から立て直しつつありますが、欧州政府債務危機の顕在化等、世界経済の減速により依然として厳しい状況が続いております。

モバイルインターネット市場においては、スマートフォンの急速な普及により、日常的にインターネットに接触する機会が増加し、生活インフラに近づきつつあります。また、国内ソーシャルゲームの市場規模は引き続き拡大しておりますが、ゲームタイトル数の増加により競争が激化しております。

このような状況の下、当社は、スポーツに特化したエンターテインメントプラットフォームである「ｍｏｂｃａｓｔ」の機能強化と、モバイルソーシャルゲームの開発及び運営に取り組むと共に、効果的なプロモーション施策を実施し、会員数の拡大と収益基盤の強化に取り組んでまいりました。その結果、自社開発のオンラインプロ野球ゲーム「モバプロ」やオンライン競馬ゲーム「モバダビ」において、順調に利用者数と売上高が増加いたしました。一方、費用面では、売上の増加に連動して回収代行手数料やロイヤリティの支払いが増加し、また、プロモーション施策の積極的な実施により広告宣伝費が増加しました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の業績は、売上高は1,081,952千円、営業利益は248,899千円、経常利益は248,154千円、四半期純利益は143,264千円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の総資産は1,655,895千円となり、前事業年度末に比べ326,843千円増加しました。主な要因としましては、「現金及び預金」が393,229千円増加したことによるものであります。

負債につきましては736,954千円となり、前事業年度末に比べ124,023千円増加しました。主な要因としましては、「未払法人税等」が113,605千円増加したことによるものであります。

純資産につきましては918,941千円となり、前事業年度末に比べ202,819千円増加しました。主な要因としましては、「資本金」及び「利益剰余金」がそれぞれ34,530千円、143,264千円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前事業年度末53.9％に対し、当第１四半期会計期間末は55.5％と1.6ポイント増加しております。また、支払い能力を示す流動比率は、前事業年度末247.6％に対し、当第１四半期会計期間末は244.5％と3.0ポイント減少しております。

（３）業績予想に関する定性的情報

当社は、自社が運営するエンターテインメントプラットフォーム「ｍｏｂｃａｓｔ」において、キラーコンテンツであるゲームコンテンツを中心に、スポーツを軸としたエンターテインメント性の高いモバイルコンテンツの提供を行い、会員数の拡大を図り、収益基盤を強化してまいりました。当社が開発及び運営を進めているキラーコンテンツであるソーシャルゲームは、ゲームというエンターテインメントを通して会員がリアルな人間関係に縛られることなく新たなコミュニティを形成してゲームを楽しむことができるものとなっており、会員は他者とのコミュニケーションを通してより深くゲームを楽しむことができます。また、従来型の携帯電話向け公式サイトゲームに比べ会員獲得コストを抑えることも可能となっています。

当社では、今後も拡大基調にある国内ソーシャルゲーム市場において、安定的な成長を実現するために、ゲーム関連売上を中心とする収益基盤の強化及び「ｍｏｂｃａｓｔ」プラットフォームのより一層の機能強化を行ってまいります。

既存のソーシャルゲームについては、効果的な広報・広告宣伝活動を展開し会員の利用者数を増加させるとともに、少数のゲームタイトルに依存した収益体制を脱却し、会員の多様な選択肢を用意しプラットフォームの価値を向上させるためにも、自社開発のゲームエンジンである「ＭＳＧＥ」を使用した新ソーシャルゲームの開発及び運営にも注力してまいります。また、当社では、安定的な成長を実現するために、会員一人当たりの課金額を高めるのではなく、課金利用者数を増やすための施策を実施していく予定であり、会員が長く遊べるようなゲームの提供と運営を心がけております。

「ｍｏｂｃａｓｔ」プラットフォームでは、平成24年３月から提供を開始した「実況Live！」（プロ野球実況中継」やニュース、コミュニティ等の会員による利用がゲームの利用者の増加と共に伸びておりますが、更にその利用頻度を増やすため、会員にとって使いやすいプラットフォームを目指し、「ｍｏｂｃａｓｔ」の一層の機能強化に取り組んでおります。また、この利用者の増加を広告メディア収入につなげられるように組織体制の強化を図っております。さらに、当社では、少数のゲームタイトルに依存した収益体制を脱却し、会員にとっての「ｍｏｂｃａｓｔ」の価値を高めるためにも、プラットフォーマーである強みを活かして、他社ゲームコンテンツの当社プラ

ットフォームでの配信（オープン化）を予定しており、その準備を行っております。
今後の一層の事業拡大を目指す上では、海外におけるインターネット市場及びソーシャルゲーム市場の拡大を見据えた準備を推進することが重要な要素であると、当社では認識しております。海外展開にあたっては、費用対効果を慎重に見極めながら、海外展開へのノウハウを蓄積し、体制の整備等を図っていく計画であります。

以上のような今後の取り組みによる影響と当第１四半期累計期間までの業績推移を考慮して、通期の売上高3,814百万円（前年同期比88.6％増）、営業利益1,000百万円（同92.0％増）、経常利益997百万円（同95.5％増）、当期純利益591百万円（同22.2％増）を見込んでおります。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,836	1,050,065
売掛金	572,737	482,472
その他	11,021	27,665
貸倒引当金	△2,851	△3,581
流動資産合計	1,237,744	1,556,622
固定資産		
有形固定資産	1,984	11,332
無形固定資産	42,269	44,480
投資その他の資産	47,053	43,460
固定資産合計	91,307	99,273
資産合計	1,329,052	1,655,895
負債の部		
流動負債		
短期借入金	10,000	6,250
1年内返済予定の長期借入金	67,760	65,260
未払金	381,784	391,783
未払法人税等	4,522	118,128
その他	35,893	55,127
流動負債合計	499,960	636,549
固定負債		
長期借入金	112,970	100,405
固定負債合計	112,970	100,405
負債合計	612,930	736,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,995	214,525
資本剰余金	25,000	50,025
利益剰余金	511,126	654,391
株主資本合計	716,121	918,941
純資産合計	716,121	918,941
負債純資産合計	1,329,052	1,655,895

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	1,081,952
売上原価	291,395
売上総利益	790,556
販売費及び一般管理費	541,657
営業利益	248,899
営業外収益	
撤退事業関連収益	429
その他	66
営業外収益合計	495
営業外費用	
支払利息	819
株式交付費	346
その他	74
営業外費用合計	1,240
経常利益	248,154
税引前四半期純利益	248,154
法人税、住民税及び事業税	116,268
法人税等調整額	△11,378
法人税等合計	104,890
四半期純利益	143,264

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

当社は、モバイルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年３月７日付の新株予約権の行使により、当第１四半期会計期間において、資本金が34,530千円、資本準備金が25,025千円増加し、当第１四半期会計期間末において資本金が214,525千円、資本準備金が50,025千円となっております。

（６）重要な後発事象

新株予約権の付与

１．第15回新株予約権

当社は、平成24年４月11日開催の臨時株主総会決議及び平成24年４月11日開催の取締役会決議に基づき、外部協力者に対し、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権の付与を、次のとおり行っております。

① 新株予約権の目的となる株式の種類及び数：普通株式　5,000株
② 新株予約権の払込金額：金銭の払込を要しない
③ 新株予約権の権利行使価格：１株につき　800円
④ 新株予約権の行使により発行する株式の発行価額の総額：4,000千円
⑤ 新株予約権の行使時の資本組入額：１株につき　400円
⑥ 新株予約権の行使により発行する株式の資本組入額の総額：2,000千円
⑦ 新株予約権の割当日：平成24年４月30日
⑧ 新株予約権を発行する理由：外部協力者の、当社の業績向上に対する貢献意欲を高め、当社の持続的な成長及び企業価値の向上を図るため

２．第16回新株予約権

当社は、平成24年４月11日開催の臨時株主総会決議及び平成24年４月11日開催の取締役会決議に基づき、当社従業員に対し、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権の付与を、次のとおり行っております。

① 新株予約権の目的となる株式の種類及び数：普通株式　41,000株
② 新株予約権の払込金額：金銭の払込を要しない
③ 新株予約権の権利行使価格：１株につき　800円
④ 新株予約権の行使により発行する株式の発行価額の総額：32,800千円
⑤ 新株予約権の行使時の資本組入額：１株につき　400円
⑥ 新株予約権の行使により発行する株式の資本組入額の総額：16,400千円
⑦ 新株予約権の割当日：平成24年４月30日
⑧ 新株予約権を発行する理由：当社従業員の、当社の業績向上に対する貢献意欲や士気を一層高め、当社の持続的な成長及び企業価値の向上を図るため